

はばたき21通信

AUTUMN 6TH EDITION 2003.9

台東区立男女平等推進プラザ

What is gender?

選べないのは

なんでかな？

母親以外の私も選びたい

あなたの好きな色は…

子育て中のお母さんには楽しいこと、つらいことがたくさんあります。そんなお母さんたちの生の声を聞いた『母親以外の私も選びたい』。さらに、色がたくさん溢れている現在の、色とジェンダーの関わりについて『あなたの好きな色は…』の2つを特集します。

母親以外の 私も選びたい

「毎日こどもの成長を見るのが楽しい」「毎日が発見と勉強です」これは、本誌編集委員会が子育て中の女性を対象に行った子育てに関するアンケートでの意見です。このように子育てが楽しいという意見がいくつかありました。しかし実は「ストレスもたまりますが、楽しい事もたくさんあっておもしろい」「大変なことも多くイライラすることも度々あるが、自分なりに子育てを楽しんでいます」という意見が多数を占めています。子育てに対して大変さを感じているのも事実のようです。

台東区が平成14年に行った「男女平等に関する台東区民意識調査」では、「乳幼児の世話をいつもしている」と答えた女性の割合は男性の7.5倍もありました。乳幼児が多くいると思われる30代男女の場合、女性がいつも世話をしているという人は25%、男性は1.3%。約19倍にもなります。

同調査で、「少子化の原因は何だと思いますか」という設問に「子育てよりも自分の生活を楽しくするという人が増えたから」という回答が45.3%ありました。

逆に言えば「子育てをしている人は自分の生活を楽しむににくい」と感じられているということです。確かに子育て中の女性は、主に子どもの世話に対して多くの時間をかけています。

そんな女性たちにアンケートを行い、彼女たちが子育てについて感じていることを聞いてみました。よりよい子育てのできる社会とはいったいどのようなものなのでしょうか。

調査区域：千束児童館、玉姫児童館、台東児童館、池之端児童館、松が谷児童館、今戸児童館、寿児童館、子ども家庭支援センター、男女平等推進プラザ

調査対象：子育て中の女性

調査期間：平成15年6月24日～7月1日

回答者数：157名

Q1では、まず、皆さんに仕事をもっているかどうかをお聞きしました。80%が仕事をもっていない専業主婦の方で、20%が何かしらの仕事をもち子育てをしている方でした。

一日中、子どもと向き合っている方の意見が多く集まりました。

また、Q2で、同居家族についてお聞きしたところ、90%以上の方が配偶者・子どもと一緒に住んでいて、自分の父母（または義父母）のどちらかと同居している方の割合は合わせて25%でした。子どもの人数は、1人が69%と圧倒的に多く、2人が25%でした。中には、4人のお子さんがいる方も1名いらっしゃいました。

さらにQ3の設問では、回答者の年代をお聞きしました。約70%が30代、次に22%と20代が続きます。

30代の専業主婦で、家族構成は両親と子ども1人というのが、回答者の平均的な姿のようです。

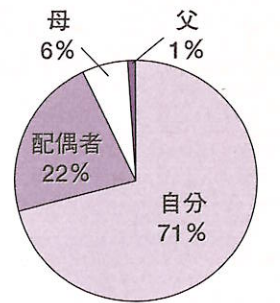
Q4は家族の中での子育ての負担の割合を、自分が感じたとおり円グラフで示してもらったものです。もちろん夫などその他の家族の方に書いてもらったから、また違う割合になるかもしれませんが。でも円グラフにするということで、自分自身を含め、家族全体をより客観的に判断することがしやすかったのではないのでしょうか。

Q5での質問は、育児で一番悩まされる子どもをあやす時の方法の例です。何が一番効果

的で、実際みんなはどうしているのか。少しでもそのヒントになればと、並べてみました。

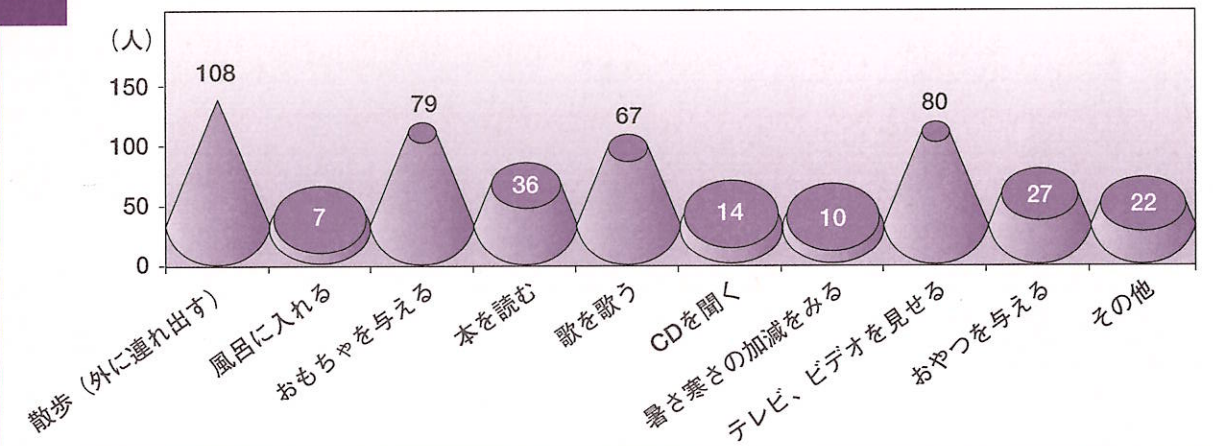
乳幼児は言葉で不快な気持ちをうまく伝えられません。泣いたときはあやす前にまず、暑さ寒さなどの加減をみて気持ちよくしてあげる。それだけで機嫌がよくなる事も結構多いそうです。どうぞ参考にしてみてください。「その他」の意見の中で目立ったのが、「抱っこをする」「抱く」というご意見でした。「抱っこ」は子どもとのふれあいの基本ですね。

Q4 家での子育ての負担の割合は？（平均値）



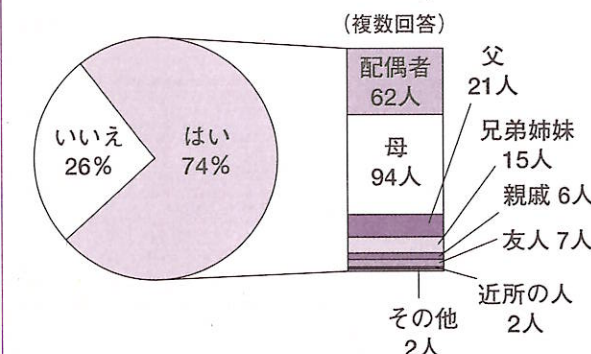
Q5

子どもをあやす時はどうしていますか？（複数回答）



Q6

子どもを預けられる人はいますか？誰に預けますか？



Q6。子どもを預けられないという人が26%います。定期的に休日を取れる仕事と、夜と昼の区別もなく続く育児は、心と体にかかる負担が大きく違います。子どもによって大変さも違うとよく言われるため、大変なのは自分の子だけなのでは、とつい思ってしまいますが、決まった時間にミルクを飲んで一定時間寝て、起きているときは機嫌よく遊ぶ、という子が統計上どれぐらいいるのでしょうか。皆、同じように悩んでいる様子が皆さんのご意見からも伝わってきます。いくつかここでご紹介しましょう。

「上の子が どうしてママはすぐおこるの？と聞いてきました。私は涙がでそうになりました。」

「1人でこもると命とり！ こもると心が爆破する!!」（アンケートより一部抜粋）

心の叫びと思えるものから、ついこぼれ落ちたという感じのご意見など、本当にいろいろな声が聞こえてきました。

Q7の質問に出てきた、いくつかの施設についてご紹介します。

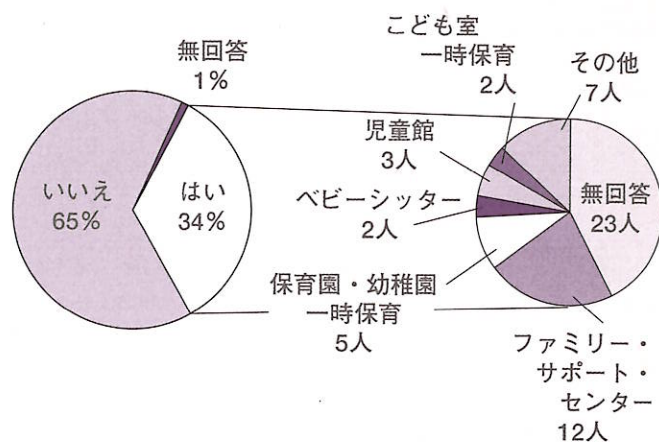
ファミリー・サポート・センターは、育児の手助けが必要な方の依頼に応じて、育児の手助けができる方を紹介します。(事前の登録が必要です) 詳しくは「台東区社会福祉協議会ファミリー・サポート・センター」電話番号03(5828)7548までお問い合わせください。

「こども室一時保育」とは、ここ『はばたき21』が子育て中の男女の社会参加を支援する目的で週に2回運営しているものです。生涯学習センター利用者*の未就学児1～6歳のお子さんを無料で預けることができます。利用は2時間以内で無料です。『はばたき21通信』2号でも詳しくご案内しています。

また、施設に対するご意見として、アンケートの中には「外出先でオムツを替える所や授乳室が欲しい」「保育園の数を増やして」「保健師さんとメールで相談したい」というものもありました。

Q7

育児支援・施設を利用したことがありますか？

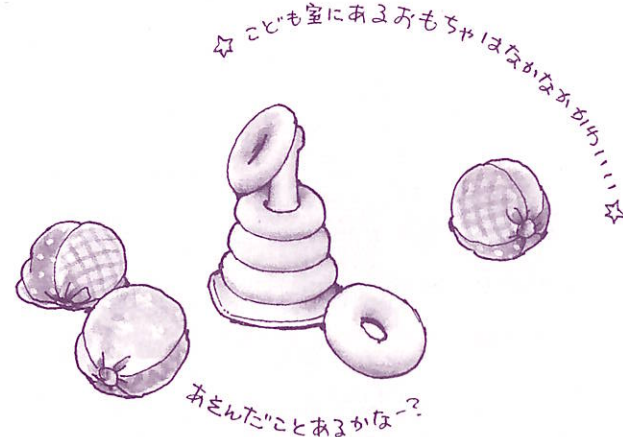


私たちは、日々いろいろな役割を意識的、無意識的に担っています。会社の部長、店長であったり、母、父であったり、祖父、祖母であったり。

そして、その役割は一つではなく、一人の人にいくつもの役割が重なっています。今、店長をしていたら、家につけば母になりとその場面、場面によって変わることが度々あります。

もし、会社の部長の顔を友だちと会う時や、家に帰ってまでしていたら、変な感じがするのではないのでしょうか。そして、部長の役割を常にしていなければならないとしたら……。

想像しただけで苦しい感じがしませんか。ちょっと息抜きがしたくなりますよね。



今回のアンケートでは、そんな子育て中の女性の声が聞こえてきたように思います。子どもを育てる事は喜びに満ちている、その役割を喜んで選択したけど、ふっと息を抜く時間が欲しい。

Q8にあるように、2～3時間でいいから自分一人の時間が欲しい。ゆっくりお風呂に入りたい、友だちとおしゃべりがしたい、リラックスしてコーヒーが飲みたい、育児書を集中して読みたい、勉強をしたい……。

きっと人間は様々な自分があることで気持ちが切り替えられて、いろいろな事が楽しくできるようになるのです。

厚生労働省のアンケートによると、30歳代の男性は仕事に打ち込んでいる時よりも、家族の団らんの時に充実を感じる割合が他の年齢に比べて高いという結果が出ています。でも、一方でちょうど子育て中の男性は、長時間就労が多いという現実もあるんです。

子育て中の女性は子どもと少し離れて自分の時間を持ちたい。子育て中の男性は仕事の時間を少し減らして子どもといたい。また、自分一人の時間も欲しいのではないのでしょうか。みんな、自分自身であり、会社員であり、父、母であって、そのバランスがとても大切な事なのかもしれません。

そのためには、性別で役割を固定されたり、一人で一つの役割をずっと背負ったりしなくてもいい社会ができればすてきですね。

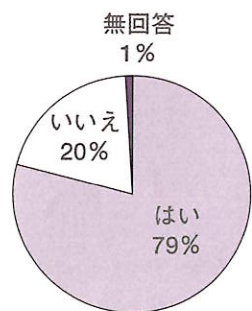
「ちょっと子ども見てて」と気軽に言える地域のコミュニティ。「あ、今日髪を切りに行きたい」と思って、すぐ預かってもらえるような育児施設。「子どもの成長が見守れて幸せだ」と思えるような働き方。

それは少し無駄な時間があるかもしれないけれど無理をしない、いろいろな自分が選べる社会ではないのでしょうか。

そのためにできること、例えば近所の人に「こんにちは」と声をかけることだったり、ちょっと勇気を出して、2、3日の育児のための休暇をとることだったりするのかもしれません。

Q8

今よりも自分の時間がもっと欲しいですか？



Q8では、自分の時間についてお聞きしました。今よりも自分の時間が欲しいとの回答は79%、8割を占めます。「いいえ」現在の状況で十分という方は2割。圧倒的に自分のための、自由時間が足りないと思っている子育て中の女性が多くいらっしゃいます。

その後のQ8(2)では、引き続いて時間に関して自由意見をいただきました。前項で「いいえ」と回答した方は、身近に協力者がいて、手助けしてもらえることが多いようです。

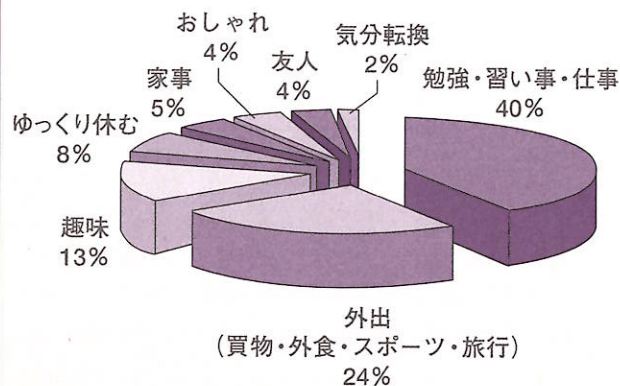
対して「もっと自分の時間が欲しい」方は、「1人で、出かける、休む、趣味を楽しみたい」といった、1人きりになれる時間を必要としているようです。育児疲れからのリフレッシュが求められています。

また、1番多い希望は「勉強・習い事・仕事のための時間」でした。自分自身のレベルアップをしたい、家に閉じこもるのではなく、社会と繋がりたい、といった、母親としてだけではなく「個人」としての自分の立場が必要なのでしょう。

※男女平等推進プラザが行う相談・講演会等への参加、またはセンター施設を使用した団体自主活動(図書館、トレーニングルーム、マルチメディアルーム、学習室を除く)や、センター内各種行事等への参加

Q8(2)

自分の時間が持てたら何をしたいですか？(複数回答)

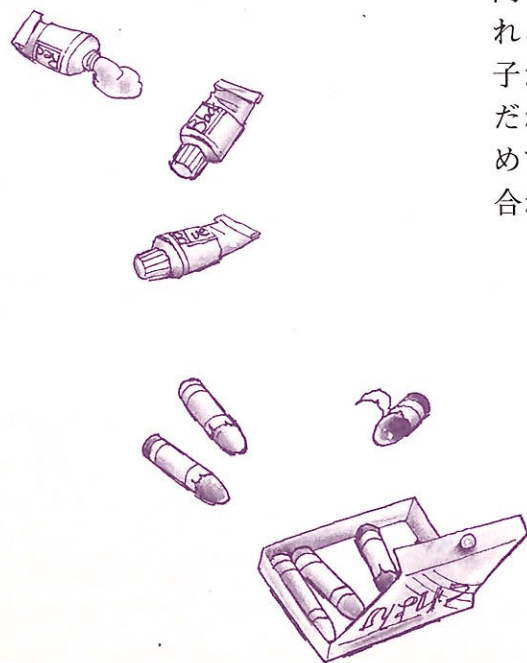


選べないのは为什么呢？ 「あなたの好きな色は…」

—— 実際にあった話 ——

①ある区のイベントの中で、おばあちゃんが、赤ちゃんの記念の手形をとろうとした時に、何色か用意されている台紙とインクの中から、「男の子だから…」と言ってわざわざ青い色の台紙に、青い色のインクで手形を押していた。青と青だと目立たないのね。

②あるお寺で稚児行列の行事があり、就学前の子どもを持つ親は、わが子の思い出にと参加させると、ほとんどの女の子の親は赤い衣装、男の子の親は青い衣装を選ぶことが多い…。みんなと同じにしないといじめられるからって。



そもそも、色がこんなに溢れているのは、安価な合成化学染料が普及してから。昔々は、植物、動物、鉱物を原料とする天然の色彩材料の藍と紅と黄色、朱と墨くらいしか色がなかった。高貴な身分な人が貝から採れる紫など希少な色を身につけることで、自分の地位や権力を示したりした。身の回りの何でもかんでも性別で色分けするようになったのは、一体いつごろからなのだろう。

そういえば、「選べる24色」※と銘打って、発売されたランドセルが画期的だった。男の子も女の子も、みんな自分の好きな色を選べているのかな？ ときたまピンクのランドセルの女の子を見かける。女の子の方には色の選択肢がまだ用意されていることが多く感じるけど、男の子たちはどう思っているのかな。

赤ちゃんが好きなのは、人の顔（動くしね）。それから、赤・黄色・青の原色。同じ色にこだわって並べる時期もあるけれど、そこには「男の子だから」「女の子だから」の意味付けはなくて、「好きだから」。そこに大人の都合が入って初めて、触れる「色」が限定されちゃう場合が多いんだ。

そういえば、デパートでもダークトーンで色相差の少ない男性服売り場と、全色相を揃えた様に色彩の満ち溢れた女性服売り場って全然違う。女の人にはたくさんの色の中から好きな色の服を選べるのに、男の人って限られた色の服の中でしか選べないよね。

男の子は、とっても赤が好き。ヒーローの衣装は赤。だから、ピンクや赤が好きな男の人もあると思うんだけど、男性服売り場にピンクや赤い服ってどれだけあるんだろう？

男の人は、選べる色が少なくて淋しい感じがする人もいるかもね。

特集 2

24色ランドセル

※24色ランドセルを発売した会社では、顧客アンケートを実施して「もっと違う色やデザインのランドセルが欲しい」「自分だけの色が欲しい」という要望をきっかけに、2001年からオリジナル24色のランドセルを売り出した。

- ・パラダイスピンク
- ・レッド
- ・ローズ
- ・カーマイン
- ・パーミリオン
- ・ブラム
- ・ピーチブロッサム
- ・トロピカルピンク
- ・ピンク
- ・チェリーピンク
- ・オレンジ
- ・レモン
- ・ハンターグリーン
- ・エバーグリーン
- ・ボトルグリーン
- ・マロンブラウン
- ・ディープブラウン
- ・グレー
- ・ブラック
- ・ネイビー
- ・マリン
- ・ライラック
- ・ハーバーブルー
- ・スカイブルー

小学生は、図画に使う色数は女の子の方が男の子よりも平均して2.2色多く使うんだって。大学生になっても女の人のほうが1.9色多いっていう話。男の人は小さい時から色に対する自分の希望を縛られているってことじゃないのかな。

自分の好きな色のランドセルを選べればステキなのに、自分の好きな色の洋服を選べればステキなのに、性別で選ぶ色を決めてしまうのは为什么呢？

日本以外の国では、一体どうなっているのだろう？

(監修) 深澤 純子 ジェンダーに敏感な学習を考える会代表



選べないのは为什么呢？
「あなたの好きな色は…」

LIBRARY

今年のはばたき21の年間テーマは、＜自分の言葉で語りだそう＞。今回ご紹介する二冊の本は、いずれも、＜自分の言葉＞で、自分自身について＜語りだした＞女性たちの本です。

大阪の堺に、「フェミニストカウンセリング堺」という相談室（カウンセリングルーム）がある。この本は、この相談室に関わった人々の語りの記録。

カウンセリングルームを訪れ、自分を語る女性たちは、「従来語られてきた「女性」にそぐわない自分自身を敏感に感じている」という。世の中にあふれているさまざまなニュースや情報のなかに出現する「女性」。そこで語られ・書かれる「女性」と、私が生きている現実との間にあるズレ。そのなかで自分が生きてきた経験を語るといえるのはどういうことだろう。自分の経験を語ろうとしても、使おうとする「言葉」が自分のものじゃない、という感覚。本書の題名が示すように、まずは、自分自身の「言葉」に出会うことがなければ、自分自身の経験について語りだすことは始まらない。

わたしの言葉を探しだした女性たちの物語に、どうぞ、ふれてみてください。



『私を語ることに会って
今を生きる女性たちの物語』

フェミニストカウンセリング堺（編）新水社 2001.1

「子育てに追われる主婦たちが、「性」というテーマを通して、自分たちのことを正面から見つめてみたい」という動機から生まれたという本書。

本の題名にある通り、本書は、女性たちの間で交わされていた交換日記をもとにできた本。あわせて性教育の専門家であり、ブラジルでエイズの予防啓発活動を続けてきた小貫大輔さんを講師に行われたワークショップの実践記録が掲載されている。

そうか、女性たちは、こんなふうに、こんな切り口から、自分自身のことを語り、他の女性たちとつながっていくんだなあということがよくわかる本。題名にある「セックスするなら眠りたい」という言葉は、ある女性が「セックスレス」がテーマになったときに書いた実感。ごくあたりまえの日常からでてきた女性自身の言葉で語ってみれば、「セックスレス」という「問題」も、なんのことはない、「そうだよな。」と共感を呼ぶ日常的な経験なのかも知れない。

おすすめですよ！



『セックスするなら眠りたい
ピッピークラブの交換日記』

ピッピークラブ（編）フェミックス 1998.10



相談カウンセラーより

昨年の日本人の平均寿命は、女性が85・23歳、男性が78・32歳で男女とも過去最高を更新しました（厚生労働省03/7/11発表）。これはその年の死亡状況が今後に変化しないと仮定して出す「簡易生命表」のデータによりますが、いずれにせよ女性は世界一、男性も香港に次ぐ世界二位の長寿で、三年連続、記録を更新したそうです。こうなってくると、これまでのように40代までに仕事や恋愛、家族を作るなどの自己実現を終え、60代で現役引退、あ

とは余生というライフプランでは現実と見合いません。いまや40代は人生の折り返し、やっと半分来た所。50代から新しい針路をとったり、60代からの20年がそれぞれの人生を輝かせるステージになりうると言っても過言ではありません。あなたの毎日まだまだこれから！

「こころと生き方なんでも相談」では、これまでの人生を振り返ったり、これからのこころの充実を考えるお手伝いもしたいと思います。「もう若くないから」「今さ

はばたき21相談室

★ ところと生き方なんでも相談 ★

◆予約制◆電話でも面接でも

◆無料◆一回50分

火・土曜日 10:00～16:00

水・木曜日 17:00～21:00

★ 女性弁護士による法律相談 ★

女性弁護士による結婚や離婚、親子、子供などの人権に関する問題専門の法律相談です。◆無料◆一回50分

毎月 第2水曜日 13:00～16:00

第4火曜日 16:00～19:00

予約専用電話

03-5246-5819

講座紹介

育児相談

毎月一回、第1水曜日に育児相談を開催しています。

育児に関する悩みや疑問について台東保健所と浅草保健相談センターの保健師が相談に乗ります。予約は不要です。

場所＞生涯学習センター4階「はばたき21」こども室

対象＞区内在住の方

持ち物＞母子手帳

実施日＞毎月第1水曜日 13時30分～15時30分

10月1日	11月5日	12月3日
1月7日	2月4日	3月3日

はばたき21 男女平等推進プラザ

♪所在地：〒111-8621 東京都台東区西浅草3-25-16
台東区生涯学習センター4階

♪交通機関：地下鉄日比谷線「入谷」駅から徒歩8分
都バス足立梅田町～浅草寿町、亀有駅～上野公園
上記2ルートの「入谷2丁目」下車徒歩1分

♪開館時間：午前9時～午後10時

♪休館日：月曜日（祝日にあたる場合は翌日）、年末年始

♪図書貸出：午前9時～午後8時（日曜・祝日は5時まで）

♪TEL：03（5246）5816 ♪FAX：03（5246）5814

♪E-mail：habataki21@taitocity.net

♪URL：http://www.taitocity.net/habataki21

区民編集委員：加藤・川島・佐々木・須賀・千葉・藤本

発行：台東区教育委員会 生涯学習課

男女平等推進プラザ

発行日：2003年9月

「はばたき21通信」についてのご意見ご感想を、FAX、はがき、E-mail、はばたき21にある意見箱等までお寄せください。お待ちしております。
はばたき21通信は郵便局、NTT、駅、区役所、出張所、図書館、区内公共施設、都内女性センターなどで配布しております。